

池田バスキュラーアクセス透析内科クリニック
○米田奈美江、松尾裕子、中山幸子、平口美知子
谷口英治、安田透、池田潔

【背景】

腎代替療法を開始する患者の多くは、尿毒症状や導入期の合併症、生活指導等の目的で入院を必要とすることが多い。

【目的】

- ①当院ではバスキュラーアクセス(VA)・血液透析・CKD外来を軸とし、計画的な外来アクセス作製・血液透析の開始を実施している。
- ②入院により導入教育された血液透析患者の受け入れも行っている。

以上から、入院導入患者群と外来導入患者群に、導入期および導入後の経過の比較検討を行い、当院における外来導入システムの現状評価を行った。

【方法】

①観察期間

平成23年9月～平成25年4月(19ヶ月間)

②対象

入院導入群 23名(以下:入院群)
他院で導入後に当院の外来維持透析となった患者
外来導入群 18名(以下:外来群)
当院外来で透析導入を行った患者

③評価項目

年齢、性別、原疾患、社会的背景、VA作製時の検査値、腎専門外来の通院期間、ESA製剤使用期間、VA作製から導入まで期間、VAの手術件数、

【結果】

図1 年代別の内訳

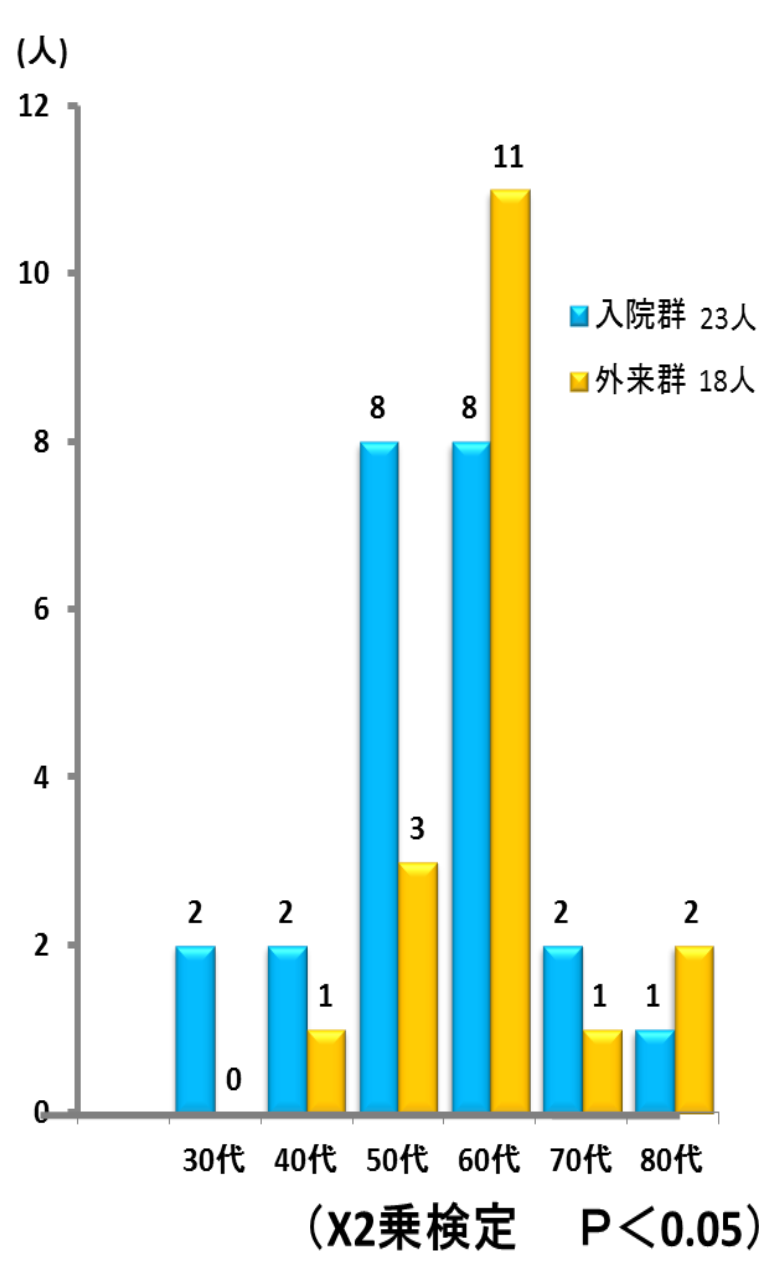


図2 社会的背景

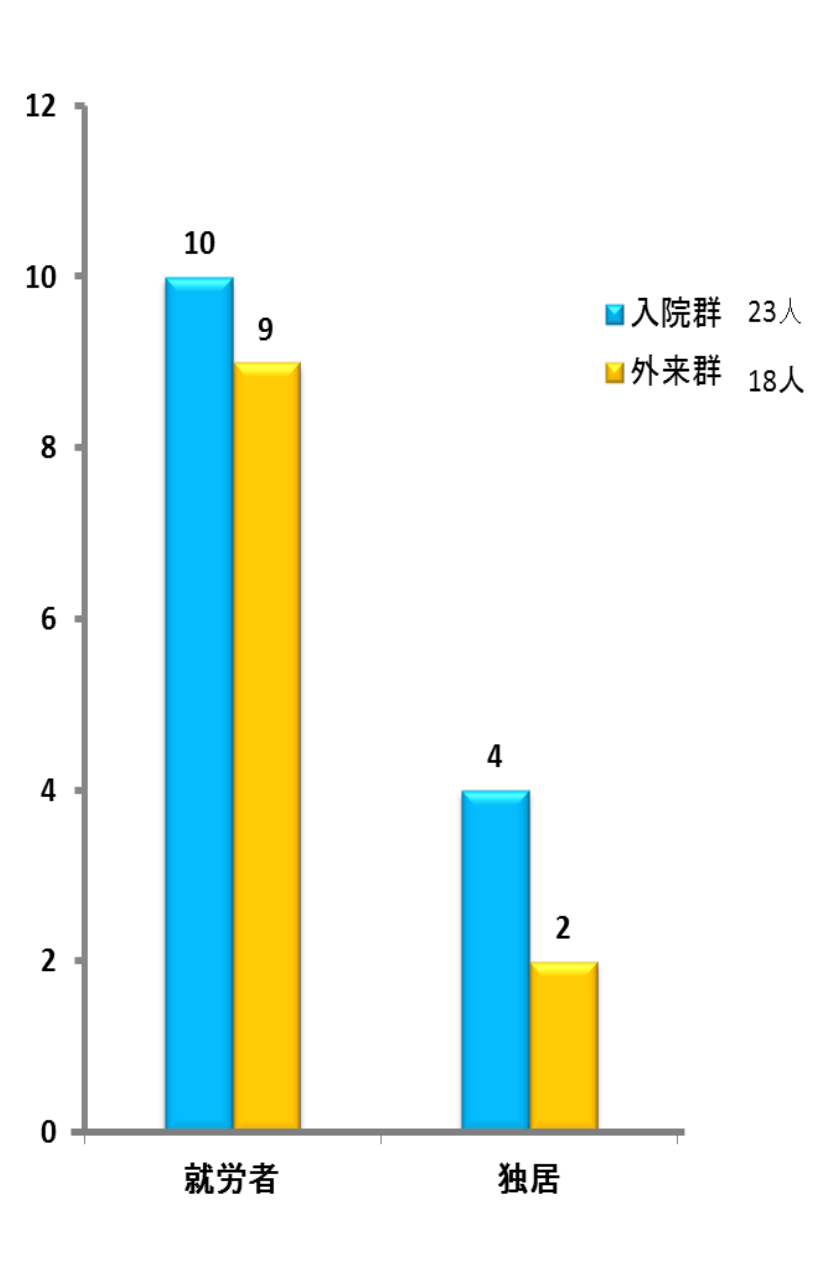


表1 VA作製時の検査値

	入院群 (23人)	外来群(18人)
BUN(mg/dl)	80.1±20.4	78.2±18
Cre.(mg/dl)	9.7±2.9	7.2±1.6 ※
TP (g/dl)	6.1±0.7	6.7±0.5 ※
Alb.(g/dl)	3.3±0.5	3.7±0.4 ※
Hb. (g/dl)	8.7±1.7	11.1±1.2 ※

(Mean±SD ※ P<0.01)

治療目標値
Cre.:6~8mg/dl (CKD療養指導マニュアル)
Hb.:10~12g/dl (CKD診療ガイド2012)

疾患の比較

図3 non-DM

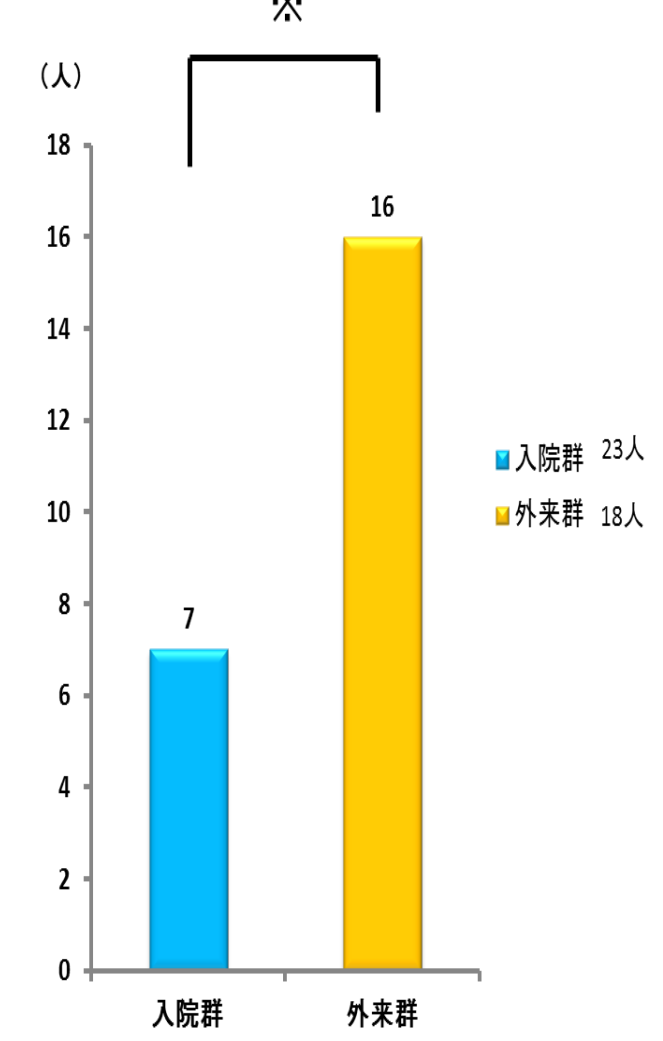
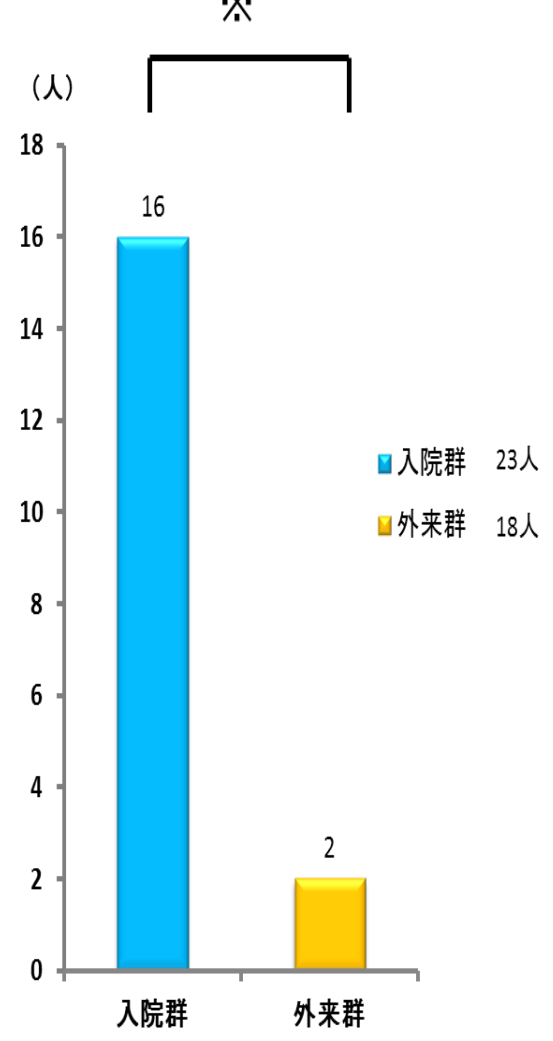


図4 DM群



通院期間の比較

図5. non-DM群

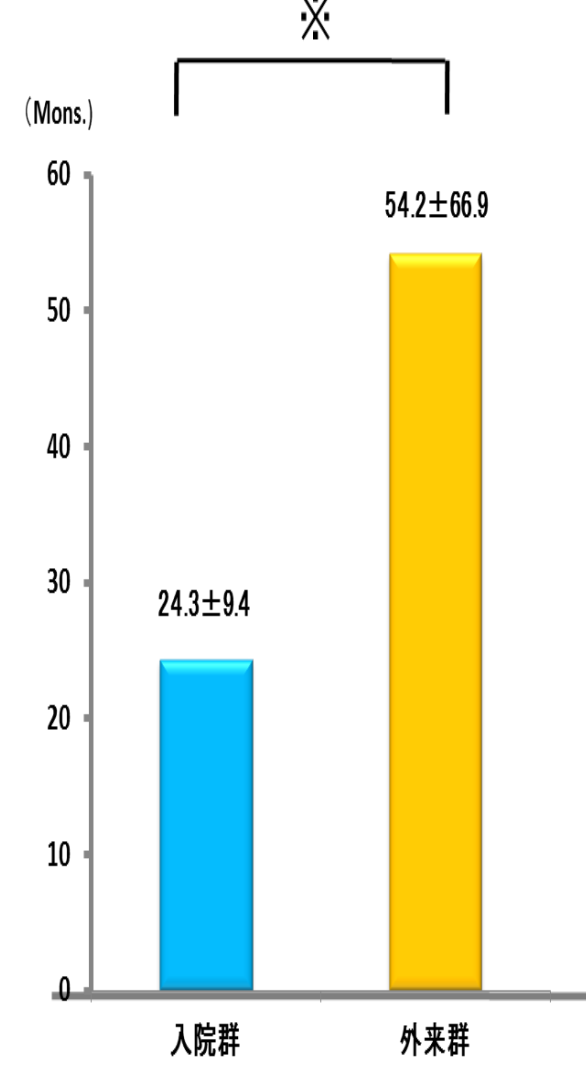


図6. DM群

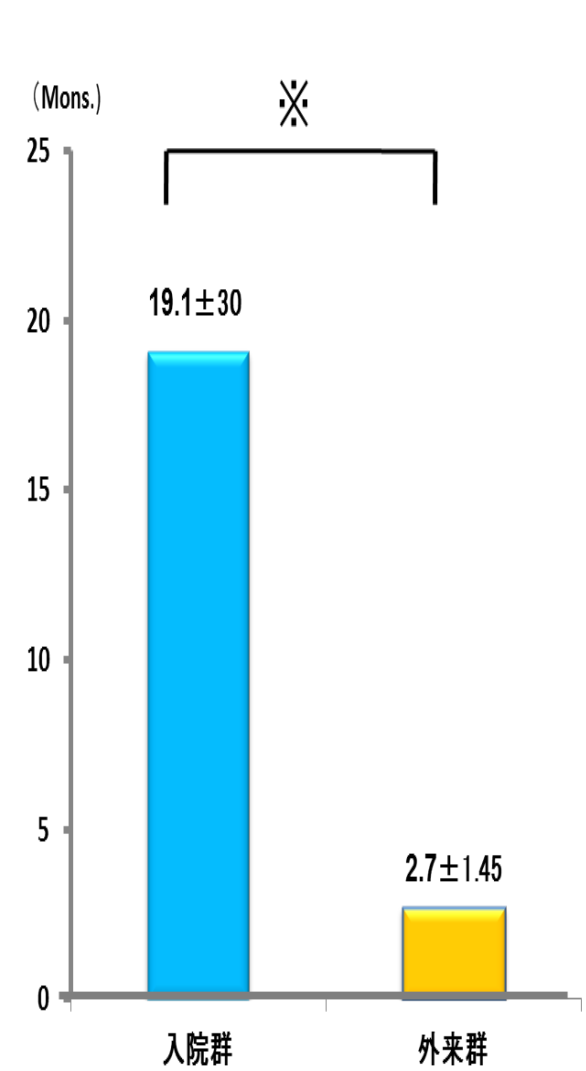


表2 透析導入までの治療期間

期間	入院群 (23人)	外来群(18人)
ESA製剤投与	データなし	27.1±28.5
VA作製～初回穿刺	15.7±5.5	29.6±24.6 ※
腎専門外来通院～導入	21.7±30.3	48.6±54.2 ※

(Mean±SD ※ P<0.05)

患者指導内容

- CKD外来: 医師と看護師による生活指導。管理栄養士による個別栄養指導。
- 血液透析導入後: 導入2年以内の患者を対象に表4をベッドサイドで1項目約15分間の指導を実施。
- 全外来透析患者: 年2回の患者学習会を開催。(内容:フットケア、災害時の対応、癌について、食事指導バスキュラーアクセス、腎性貧血、リンとPTA等)

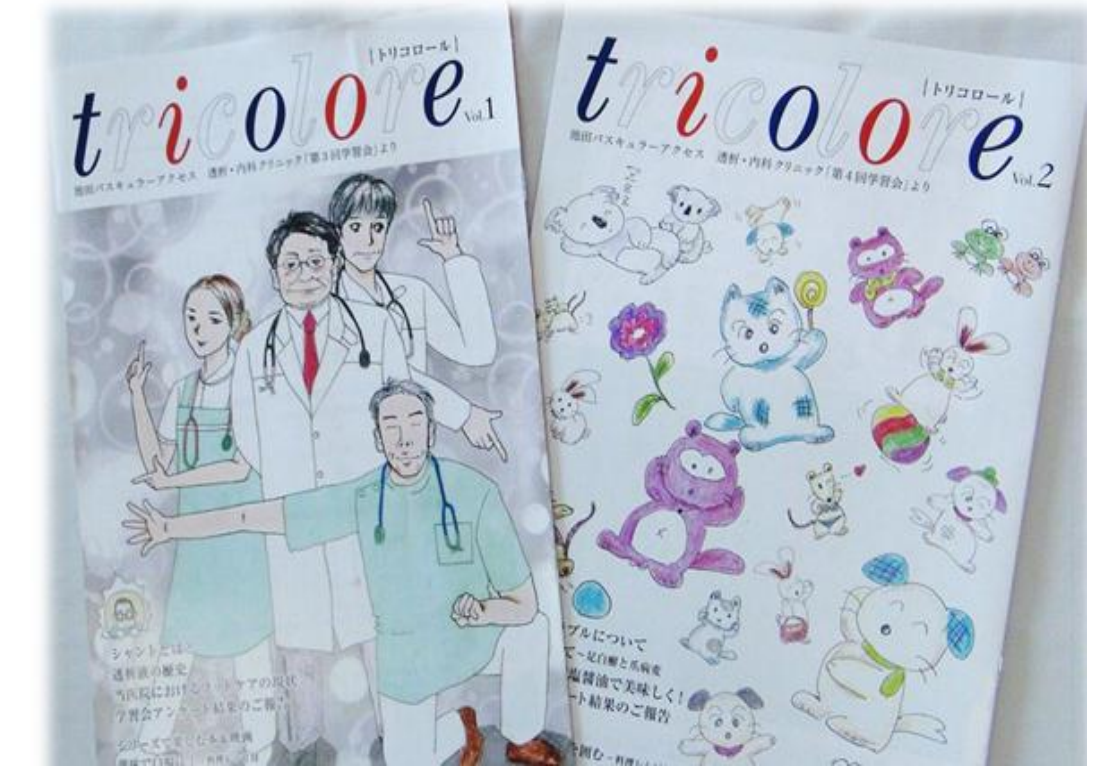
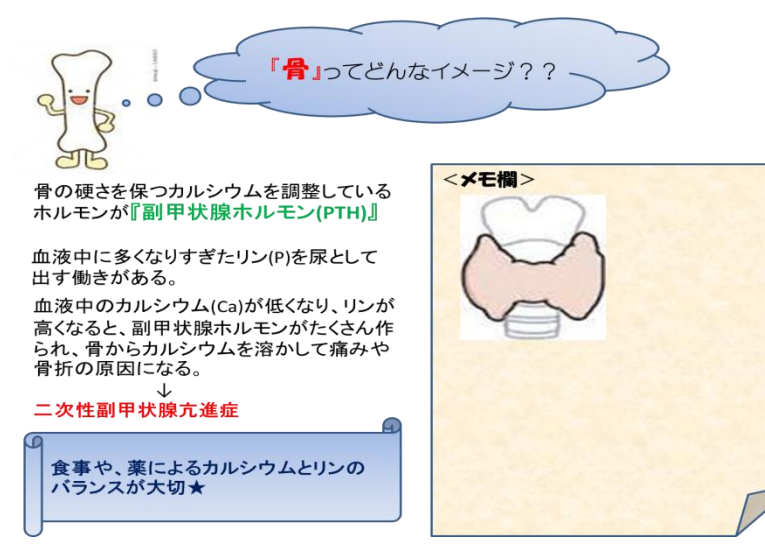
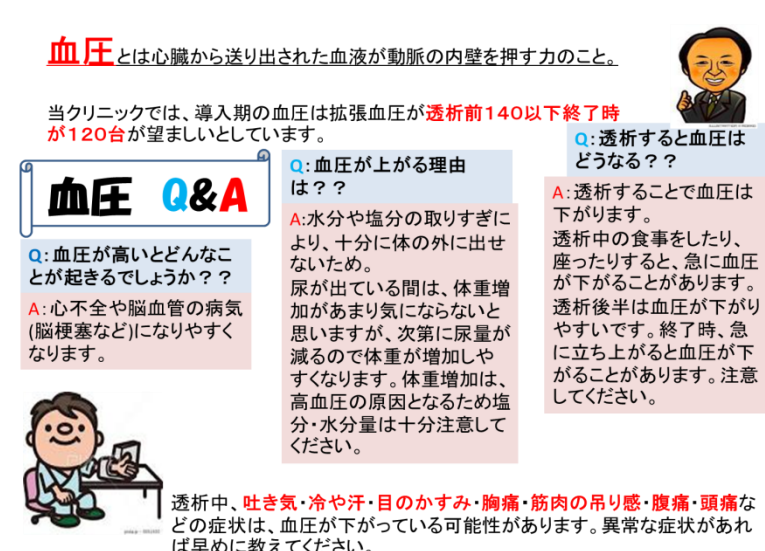
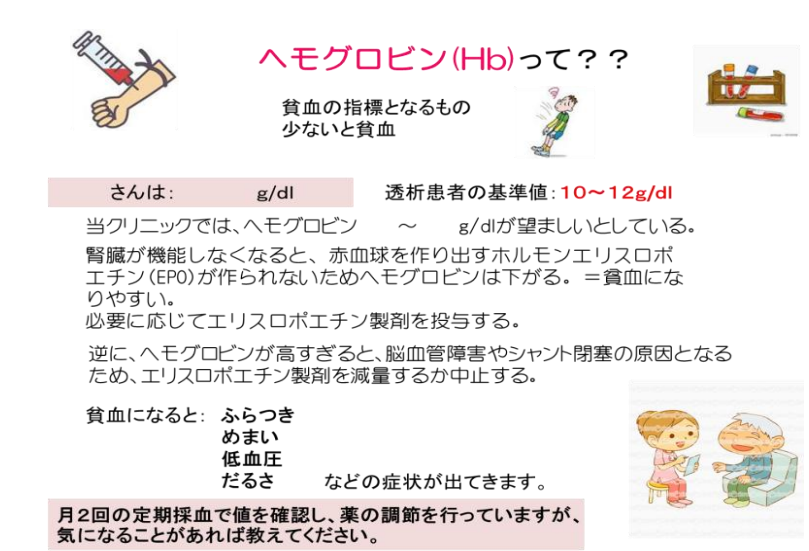
表3 カテーテル導入・手術・PTA数の比較

件/人/年	入院群	外来群
カテーテル導入数	11	2 ※
手術数	0.16	0 ※
PTA数	0.63	0.18 ※

(X2乗検定: ※ p<0.05)

表4 指導内容

指導項目	栄養士	看護師	技士
①カリウム	①ヘモグロビン	①心胸比	
②リン	②尿と汗	②アクセス	
③塩分	③PTH	③DW	
④栄養Ⅰ	④運動	④血流量	
⑤栄養Ⅱ	⑤足病	⑤除水量	
	⑥血圧		



【まとめ】

- #1 外来群では、生活支援者の存在が外来VA作製・外来透析導入を容易にする可能性が示唆された。
- #2 外来群ではVA作製時のHb・Cre値がガイドラインで示された治療目標値で作製されていた。
- #3 VA作製時期・検査値を考慮することで、VAトラブル件数は、血液透析導入後に入院群と比較して有意に少なかった。
- #4 DM患者が早期に腎専門外来へ紹介されることで計画的導入が可能となり、カテーテル挿入を回避できることが示唆された。
- #5 non-DM患者群は、腎専門外来通院期間が有意に長かった。
- #6 適切なESA製剤投与は、ガイドラインのHb値を維持できた。

【おわりに】

当院ではアクセス作製管理・CKD外来・維持血液透析を実施していることで、計画的な外来透析導入ができる環境にある。今後もさらに、導入前後の患者教育体制の充実を検討していきたい。

【表示例】
学術講演会ポスター発表時、申告すべきCOI状態がない場合
(ポスター掲示の最後にCOI状態を開示する)

日本透析医学会
COI 開示

筆頭発表者名 米田奈美江

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。